

ISMS 基本方針

2024年10月29日制定
アイリスオーヤマ株式会社
セキュリティ委員会

1 はじめに

当社は、生活者の潜在的な不便・不満を解消するソリューション商品で、暮らしをより豊かで快適にするためのモノづくりを行ってきました。メーカーでありながら自社で問屋機能を併せ持つ、メーカーベンダーの仕組みを確立し、需要創造・市場創造をする新しいユーザーインの形にたどり着きました。また、顕在化したニーズではなく、潜在的なニーズを掘り起こした“ユーザーイン発想”で「コト」に着目した商品開発を行い、お客様の快適な暮らしをサポートしています。日本で培ったアイデアを各国の生活様式に合わせて提案し、世界中で豊かな生活が送れるようにグローバル展開しています。

当社は、様々な商品・サービスの提供を通して、社会の課題解決に取り組んでおり、多岐にわたる事業と商品、サービスの提供を通して、移り行く時代と社会の変化にスピーディーに対応し、生活者の新たなニーズに応えています。

しかしながら、近年、情報通信技術の発展に伴って情報漏えい等の情報セキュリティに関する事件事故が後を絶たない状況となっており、お客様が求める高品質サービスを提供するために、今後もより一層の情報セキュリティ管理に取り組むことが必要不可欠なものであると認識しております。

当社は、SDGsの目標達成を目指し、当社にとって関係性の深い「環境」、「地域」、「人材」、「製品」を通じて、ユーザーが暮らす地球と社会が抱える課題の解決に向け、高まる企業としての責任を果たし、社会貢献活動を続けていきます。加えて、情報セキュリティへの積極的な取り組みが、社会から信頼され、「アイデアを愛し、アイデアで愛される会社であり続けたい」というコーポレートメッセージを基軸として社会に貢献できる企業を実現するものであると考え、以下に情報セキュリティの原則を定め、推進してまいります。

2 情報セキュリティ活動の原則

2.1 情報セキュリティ管理体制の整備

当社は、組織横断的な情報セキュリティを推進する機関として、「情報セキュリティ委員会」を設置し、全社で統一されたセキュリティ管理活動を推進します。

2.2 リスクアセスメントの実施

当社は、保有する情報資産について機密性、完全性、可用性の観点から脅威、脆弱性を洗い出し、内在するリスクを把握します。また、定期的かつ重大な変化に応じてリスクアセスメントを再実施します。

2.3 情報セキュリティ対策の実施

当社は、リスクアセスメントの結果、必要となる情報セキュリティ対策を明確にし、対策活動を誠実に実施します。

2.4 情報セキュリティ向上のための教育の実施

当社は、定期的な教育を実施し、情報セキュリティにおける基本方針および目的を満たすことの重要性、並びに、法の下での責任について、全ての従業員が認識を持ち続けることができるプログラムを実行いたします。

2.5 自己点検および監査による見直しの実施

当社は、情報セキュリティの管理状況について定期的な自己点検と監査を実施し、管理体制および仕組みの見直しを実施いたします。

2.6 法令遵守

当社は、情報セキュリティに関連する法令、ガイドライン及び契約上の義務、並びに、社内規程等を遵守いたします。

2.7 継続的改善

当社は、情報セキュリティに関する組織内外の状況を把握し、情報セキュリティに対する継続的改善に取り組みます。